

岐阜大学雷検知器のデータ回収法

外付け MO ドライブの認識

DL-716 の上に乗っている 1GB 外付け MO ドライブを ON した後、DL-716 を OFF/ON し、外付け MO ドライブを認識させる。Start/Stop ボタンを押下し緑 LED を消灯する。画面に「Action On Trigger または GO/NOGO を終了しました。」が表示されるので、ESC ボタンを押下する。

次に、外付け MO ドライブに MO ディスクを挿入し、パネル下方にある FILE を押下し、画面上の Function ボタンを Media になるまで何度か押下し、さらに、画面上の Media ボタンを SCSI になるまで何度か押下する。ここで画面上の Set Media ボタンを押下し、外付け MO ドライブが認識されていることを確認する。

MO へのデータのコピー

画面上の Media ボタンを HD になるまで何度か押下した後、画面上の Set Media ボタンを押下し、ファイルがあることを確認する。次に、画面上の Function ボタンを Copy になるまで何度か押下する。この際、Destination が SCSI に、Directory が No. 1 になっていることを確認する。

画面上の Mark/Unmark All Files ボタンを押下し、ファイル名の左に“C”が表示されることを確認したうえで、画面上の Copy ボタンを押下する。ファイルが MO に書き込まれる（十数分かかる）のを待機する。なお、ファイル数が 100 を超えると 1 枚の MO には収まらないので、MO を入れ替えてから最初の方のファイルを消して、同様のことを行う。

データの確認（省略可）

画面上の Function ボタンを Media になるまで何度か押下。画面上の Media ボタンを SCSI になるまで何度か押下。画面上の Set Media ボタンを押下。ファイルがあることを確認。画面上の Media ボタンを HD になるまで何度か押下。画面上の Set Media ボタンを押下。

HD からのファイルの削除

外付け MO ドライブから MO ディスクを取り出し、DL-716 に SCSI ケーブルでつながっている 1GB 外付け MO ドライブを OFF する。その後、画面上の Function ボタンを Delete になるまで何度か押下し、画面上の Mark/Unmark All Files ボタンを押下し、ファイル名の左に“D”が表示されることを確認したうえで、画面上の Delete ボタンを押下する。画面に「本当に実行してよろしいですか？」と表示されるので、パネル右上隅にある SELECT ボタンを押下する。

データのコピーの際などに一部のファイルだけを消したいときには、ダイヤルでカーソルを目的のファイルに合わせ、パネル右上隅にある SELECT ボタンを押下して目的のファイル名の左に“D”を表示させ、画面上の Delete ボタンを押下する。最後に画面に「本当に実行してよろしいですか？」と表示されるので、パネル右上隅にある SELECT ボタンを押下する。

データ取得の再開

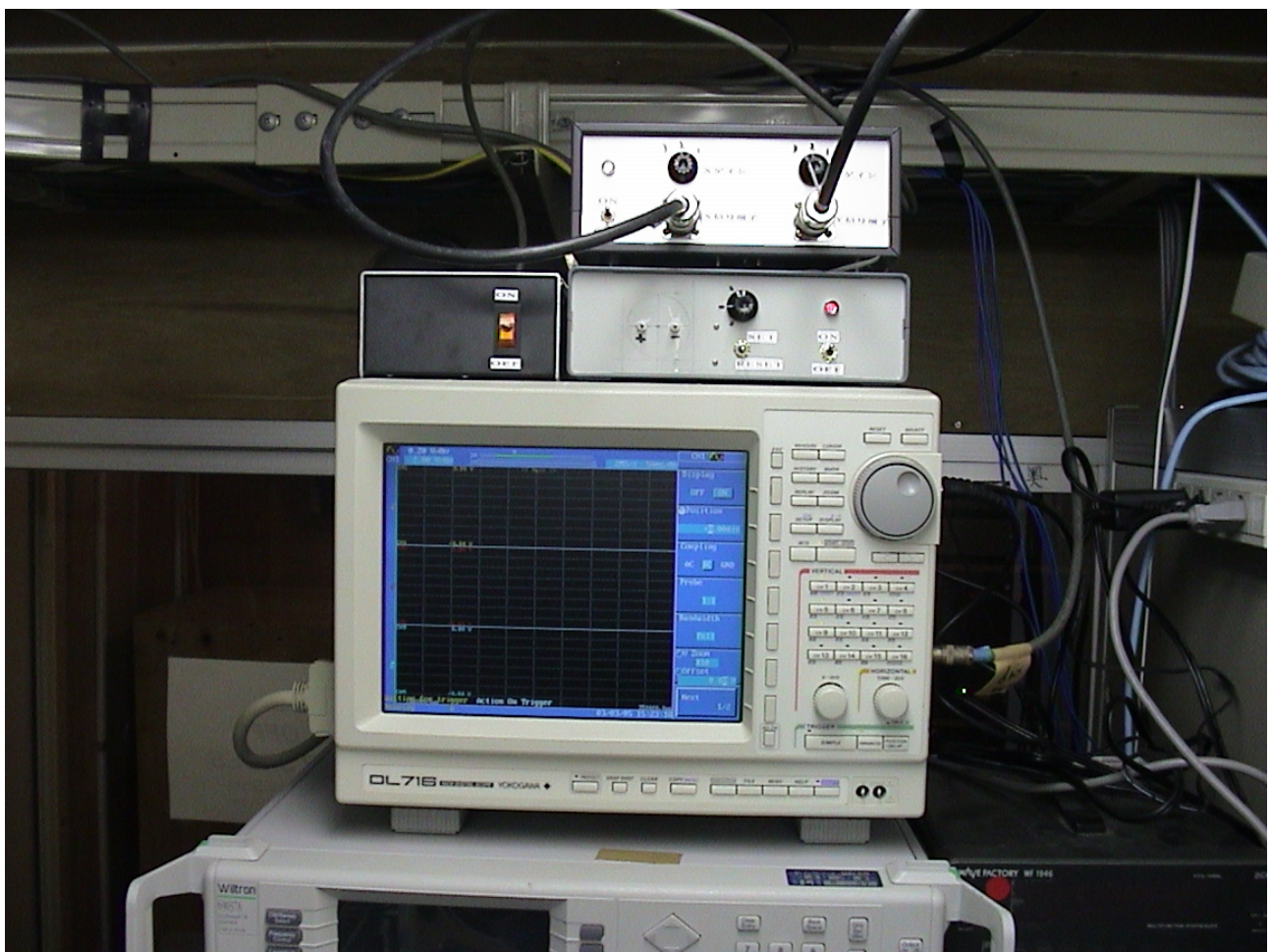
DL-716 を OFF/ON することで自動的に測定を再開する。

トラブル対処法

阪本成一 (seiichi@nro.nao.ac.jp、職場 : +81-422-34-3843、自宅 : +81-424-98-1572) に連絡する。

設置状況

図 1 : ASTE 観測制御室東側ラック上における岐阜大学雷検知器端末の設置状況。



以上